

研究課題名	放射線誘発脳腫瘍に関する疫学研究
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科脳神経外科学 教授 堀江 信貴
研究期間	2022年6月9日(許可日)～2027年3月31日
対象者	2000年4月から2021年12月の間に、広島大学病院脳神経外科および呉医療センター中国がんセンターで、放射線治療後に発生した脳腫瘍に対する治療を受けられた患者さん。
意義・目的	放射線治療は、脳腫瘍や脳血管奇形など中枢神経系の疾患の治療において重要な役割を担っています。まれに放射線治療後に、二次性の脳腫瘍が発生することが知られていますが、その特徴や適切な治療法についてはまだ解明されていません。今回、放射線誘発脳腫瘍特徴を明らかにすることで、リスク因子の解明や適切な治療法を確立にするため、この研究を計画しました。
方法	本研究は、全て診療録(カルテ)情報を転記して行います。また、手術摘出済みの病理標本を病理学的に追加検討します。検討する項目は、IDH-R132H 蛋白、p53 蛋白、ATRX 蛋白、H3.3 K27M 蛋白、H3.3G34R 蛋白、H3.3 K27me3 蛋白、EZH2 蛋白、MTAP 蛋白、p16 蛋白の発現です。カルテから使用する内容は年齢、性別、治療前後の CT/MRI 画像から得られるパラメータ、放射線照射時年齢、放射線誘発腫瘍発症年齢、病理診断、原疾患、腫瘍部位、化学療法内容、放射線治療内容、生存期間、無増悪生存期間、治療関連有害事象です。 呉医療センター中国がんセンターからも上述の診療録情報および病理標本の提供を受け、本学にて解析を実施します。
研究実施体制	研究代表機関・研究代表者 広島大学大学院医系科学研究科脳神経外科学 教授 堀江 信貴 共同研究機関・研究責任者 呉医療センター中国がんセンター 大庭 信二 研究機関の長 下瀬 省二
試料・情報の管理責任者	広島大学 大学院医系科学研究科脳神経外科学 教授 堀江 信貴
個人情報の保護について	診療録情報・病理標本は、解析する前に各施設において氏名、住所等の個人が識別できる情報を削除し、代わりに新しく研究用の符号をつけどなたのものか分からないように加工します。 調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel: 082-257-5227 広島大学病院 脳神経外科 診療准教授 山崎 文之